

4/15 水曜

健康影響否定 根拠ない

医療費2倍化 宮本氏が批判



日本共産党的宮本徹
議員は14日の衆院厚生
労働委員会、75歳以
上の人に窓口2割負担
を導入する「高齢者医
療費2倍化法案」が患
者の受診控え・重症化
を増やす危険性をただ
し、「ただちに健康に
影響しない」との菅義
偉首答弁には根拠が
ないと批判しました。

宮本氏が2割負担の
影響をたたずと、厚労
省の浜谷浩樹保健局長
は年10万円以上の負担
増になる人は、激変緩
和中の約5千人から、
3年後緩和終了後に
は1万2千人になる試
算だと答弁。緩和終了
後の給付費削減分の年
2190億円のうち1
050億円が受診控え
によるものとの試算
も明らかにしました。

田村憲久厚労相が
「負担能力がある人に
分かち合つてもうう」
と言い訳したのに対
し、宮本氏は「割負担

対象の年収200万円
でも、すでに受診を我
慢している事例があつ
たとの民医連の調査を
示し、「負担能力があ
るというのは間違い
だ」と迫りました。

宮本氏はどのような
病気の患者に受診控え
が多いかとたどりまし
たが、浜谷局長は「受
診控えはマクロの数
字で、疾病ごとの影
響は示せないと答弁
に終始。過去の負担増
に伴う受診控えの影響
も示せないとしたた
め、宮本氏は、菅首相
の「ただちに健康への
影響を意味するもので
はない」(8日の衆院
本会議)との答弁には
しました。

糖尿病など自覚症

状が薄いと受診控えや
重症化が起りやすい
実態を示し、「負担増
高裕層・大企業にこそ
の影響を分析もせず法
案を押し通すのは無責
任だ」と強調。負担は
富裕層・大企業にこそ
求めよと迫りました。

質問する宮本徹議員

14日、衆院厚労委